

第5課「環境」

日曜日/環境を創造する

・あなたの家庭・職場・教会の「環境」はどうですか？ 良き環境とは、偶然に、計画なしに、放っておいたら自然にできるものでは決してない。それは造られねばならないもの。しっかりした目的と計画と愛情をもって造られるもの。

・p33の文章の中には「神様は環境を整え用意し準備した後、人間をエデンに置いた」とある。例えば食事をするためにレストランに行く、雰囲気がいい、料理もおいしい、店員も親切。こうした気分をよくする環境を作り出す舞台裏には、必ず大変な配慮と努力と心遣いと愛情と素晴らしい技術がある。神様が用意下さった環境自然は素晴らしい。そこに神様の我々への接待の妙と愛を見ることができる。だから、私たちが準備もてなしの用意も十分にしないのに、人に「いらしてください」と誘うのは失礼なことだと思った。

月曜日/安息日の環境

・質問A「人間の体が形作られたのは週の何日ですか？」質問B「では人間が完成したのは何日目ですか？」Aの答え「6日目」 Bの答え「7日目安息日」です。教課p34の1行目「すべての働きは、神が安息日を創造するまでは完成していない」とある。人間は一方的に神から造られてもまだ人間ではない。まだ完成していない。自分の意志で「ああ～ありがたい」と思い、創造主に反応し、それを表して人間は完成する。神は安息日という感謝を表す機会を私ども人間にお与えになった。

火曜日/罪以後の環境の変化

・「天災」という言葉は乱暴に言えば「神様のせい」という意味を含んでいる。でもかつて「天災」と言われた「台風・津波・大雨洪水・竜巻・伝染病」らが、実は「人災（人間のせい）」であったと解明されてきた。創世記 3：17「地はあなたのために呪われ」と聖書ははるか昔から言ってきた。

水曜日/環境保護と私たちの責任

・あのルカ 15 章の「放蕩息子」は地球の中の人間のような。「僕には地球にある全ての資源を使う資格がある」と主張し父である神から奪い取り「放蕩の限りを尽くして、財産（資源）を無駄遣いしてしまった」（ルカ 15：13）次に人類に待っているのは「食べるにも困るひどい飢饉」である。いつ人類は「本心に立ちかえる」のか・・・。

木曜日/太陽礼拝者

・その他の日光浴の効能

傷を癒すのを早める/筋肉の質をよくする/白血球・赤血球を増加させる/皮膚を滑らかにする/
日光に当たるとストレス緊張がとれる/性格が明るくなる/日光に当たると流れる玉の汗がでるが、その中に鉛 PCB（人間の体から自然には出ていかない物質）などが出ていく/人間の体には 60 億個の細菌が付着しているがそれらを殺菌する/宇宙に行ったら 25%のカルシウムが減る。ビタミンD（玉子 3 個分位）を摂らないとカルシウムとはならない。しかし日光に 1 日 15 分あたると 1 日に必要なビタミンDが得られる/E・G・ホワイトの言葉「日光は神様がお与えになったお医者様」/

・長時間の日光に当たるのは危険

皮膚が焼ける/皮膚癌の危険度増す（しかし正しい食生活をしていると皮膚癌になりにくい/老化が早まる/目を痛め白内障を引き起こす/